



「親鸞聖人七百五十回大遠忌」のスローガン決まる

世の中安穩なれ

各組で「ご消息披露開催される

世のなか安穩なれ



親鸞聖人750回大遠忌

法要期間
2011(平成23)年4月より
2012(平成24)年1月まで

京都 西本願寺
Hongwanji
<http://www.hongwanji.or.jp/>

発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 水上 義 乗

先ごろ、親鸞聖人七百五十回大遠忌のスローガンとロゴマークが発表された。スローガンは宗祖のお言葉である「世の中安穩なれ」と決まり、宗門内外に向け法要勤修へのアピールが一層盛り上がりつつある。

また、昨年一月九日御正忌報恩講の初日に、ご門主様より「親鸞聖人七百五十回大遠忌についてのご消息」が発表されたことを受け、全国の組で「組ご消息披露・記念法座」が開催されている。

教区では、二月二十八日の御坊組を最初に七月五日の海南組まで全十四組で実施される。ご消息披露式典では教務所長

がご消息を拝読。続いて組長並びに各寺院へご消息の伝達、趣旨演達が行われる。

記念法座では特命布教任命者による記念布教。法要への理解と協賛を得るべく、宗門長期振興計画の説明ビデオを鑑賞、参



6月11日 日高組での模様

加者全員での話し合いが行われる。開催を終えた組の話し合いでは、今後の宗門のあり方や様々な諸計画への質問があった。また、重要課題である青少年育成に向けての施策などについて、活発な意見が交わされ、五十年に一度の親鸞聖人のご勝縁に更なる宗門発展の期待が寄せられている。

鷺森テレホン

紙上法話

藤下 恒庸

(和歌山教区 本願寺派布教使)

私たちの毎日の生活を顧みますと、たいした悩みもなく、苦しみも痛みも感じず、平々凡々の日暮らしで、少々の悩み苦しみがあっても、時間が解決すると思いと感覚で生活をしていきます。

お釈迦さまが説かれる人生の四苦(生・老・病・死)を背負っての生活でありながら、それを避け、逃れようとすると、ごまかしの生活を重ねていますから、自分や、周りの身近な人の不幸

とか事件に出遭った時、我がごととなってオロオロとしてしまいます。

このように目的もなく、不安の中にいる私に、み仏の教えがあるのです。お釈迦さまは、私たちに人生の目的を示され、その目的に向かって歩むとはどういうことなのかを説かれています。

「浄土三部経」です。仏説無量寿経、仏説観無量寿経、仏説阿弥陀経です。

この教えは、苦悩の衆生(この私)に向かって阿弥陀仏の本願、念仏往生の教え、他力念仏の教えが説かれ、経文は「如是我聞」「我聞如是」で始まります。「私はこのように聞かせてください

た」と、お釈迦さまのお言葉を聞き、信じてことです。

「如是我聞」とは、お釈迦さまの仰せのままに、最も大切な人生の目的をいただき、私が救われていく唯一の道として、念仏を信じ念仏を称えることをお聞かせにあずからせていただくのです。

お経さんをいただきましょう。

「如是我聞」

す。つまり「道」を示されて、その「道」を歩むことを教えられています。また、その「道」を実践し成仏した人の有ることも示されています。

お釈迦さまの多くの教えの中から、選び取られたのが、浄土真宗の根本聖典

鷺森テレホン 法話

24時間いつでもどこからでも3分間法話が聞けます。

(法話は毎月一日・十五日に変わります)

073-422-0243

おにしさん



教化団体のページ



第2回 寺族婦人会連盟



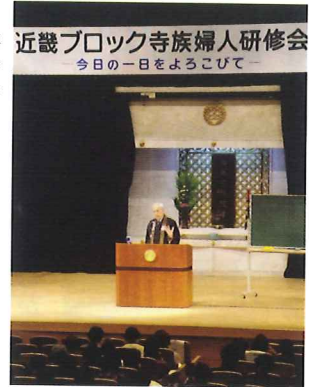
教区寺族婦人会連盟は、「ともにいのちかがやく世界へ」のスローガンのもと次のような活動に取り組んでいます。

一、宗門の基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)の理念に基づき御同朋の社会をめざし、積極的に現実の課題に取り組む

二、寺族婦人としての間法を深め、寺院伝道教化活動の充実・活性化を図る

(研修会)

☆研修会として下記の行事に取り組んでおります。



- (教区)
- 一、総会・二尊会参拝研修会
 - 二、報恩講参拝研修会
 - 三、研修旅行(隔年)
- (近畿ブロック)
- 一、近畿同朋運動推進協議会 寺族婦人研修会
 - 二、近畿ブロック寺族婦人研修会
- ※今年度ブロック研修会は和歌山教区が担当し、十月三十一日に開催します。
- (奨励・協力行事)
- ☆門信徒と共に広く門信徒会運動・同朋運動について学びを深めようと、ブロック門信徒総研修会への参加を奨励しています。
- そして、青少年の育成として、日曜学校・子どもの報恩講・仏教青年会活動などへの参加呼びかけも行っていきます。

委員長に聞く



海南組
光澤寺
藤澤勝美さん

昨年、寺族婦人会連盟委員長に就任。任期二年の内一年が過ぎた。この一年を振り返り苦労したことを聞くと、一番に上がったのが、「委員長あいさつ」だった。今までボンヤリ聞いていた人のあいさつに、急に耳が向くようになり、参考になっているとか。

また、一年の経験の中で気づかされたこともある。他教区の方との交流が増え、お互いに話し合う中で、考え方や活動意識の高い教区も多いことがわかり、反省させられたようだ。寺族婦人として、まず自らが勉強しなければいけないと、委員長に就任してあらためて気づかされたとのこと。

「失敗の連続の一年でした。他の役員の方々に助けられ、無事過ごせました。様々な活動を通じ、知り合いが増えたことが、一番の収穫です」と笑顔で語る。

次に現在の課題について尋ねると「年々教区が開催する寺族婦人研修会への参加者が少なくなっています。―寺のものを聴聞を―の気持ちで、積極的に参加してほしいですね」と危機感をにじませた。最後に寺族婦人・坊守としての思いを聞くと、会社勤めをしてきたご住職に代わり連夜参りをしている内に、ご門徒との対話がとても大切だと感じてきたそうだ。「今は住職が参っているのですが、今度はお墓参りの人を見つけては話しかけに行っている」と語る。

また、後継者育成の難しさもあげた。「少し子どもたちにお寺の苦労をばやきすぎた」と反省しつつ、「遅まきながらお寺の素晴らしさをアピールしています」とのこと。

委員長に指名されたときは、「出来るかしら？」と不安が大きかったが、家族にも励まされ、今は一つ一つがんばらうと励んでいる。

今年十月三十一日に、近畿ブロック寺族婦人研修会が和歌山教区担当で開催される。「今からその準備とあいさつを考えるのが大きな仕事」と明るく話してくれたのが、印象的だった。

2006年度

和歌山教区基幹運動計画

1. 目標

御同朋の社会をめざして

—つれもていこら 御同朋—

2. スローガン

「ともに いのち
かがやく 世界へ」
—おかげさまで ありがとう—

3. 基本方針

「基幹運動（門信徒会運動・同朋運動）は、教団や社会の現状から目をそむけず、み教えに問い聞きながら、同朋教団の再生・御同朋の社会の実現をめざす運動である」ことを体して、教区内に基幹運動の推進をより一層展開し、全員聞法・全員伝道を実現すべく、門信徒・僧侶の一人ひとりが伝道教化活動に取り組もう。

4. 研修テーマ

「いのち きびしく あたたかく」
—いのちの尊厳を、御同朋の視点から、そのきびしさとあたたかさとともに学んでいく—

5. 活動

- ① 寺院教化活動の活性化を図るために、ご本尊を中心とした家族生活をすすめる、文書伝道や話し合い法座を展開し、人びとの悩みに応える活動を展開しよう。
- ② 七月九日を「平和の日」と位置づけ、いのちの尊厳を護る取り組みをすすめる、戦争・ヤスクニ・人権・環境などの平和や社会の問題に取り組もう。
- ③ 私と教団の差別の現実を改め、「信心の社会性」を明らかにするとともに同朋教団の確立をめざそう。
- ④ 来る二〇一一（平成二十三）年の親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に向けて、浄土真宗のみ教えが、今を生きる私たちの依りどころとなり、お念仏の輪が益々広がるよう、取り組みを進めよう。

⑤ 『浄土真宗の葬儀とお仏壇』の啓発資料をもとに、葬儀にまつわるさまざまな迷信・俗信が差別の事実であることの学びを深め、迷信・俗信を打破すべく運動を展開し、浄土真宗のみ教えにふさわしい葬儀のあり方を広く徹底しよう。

- ⑥ 社会福祉活動・ビハラー活動へ積極的に取り組み、社会的実践活動への参画と地域福祉活動の推進に努めよう。

6. 具体的活動項目

- I 教区基幹運動推進委員会設置規則に基づき、組基幹運動推進委員会の充実をはかる。
- II 時代に即応する教学の研鑽と研修会への取り組み
- ① 住職・僧侶の研修② 坊守・寺族婦人の研修③ 寺院子弟の研修④ 責任役員・門徒総代の研修⑤ 壮年・婦人の研修⑥ 青少年の研修
- III 御同朋の社会をめざし、同朋運動を推進する上から、同和問題その他人権にかかわる諸問題への取り組み
- ① 各種研修会における同朋運動の研修② 組同朋運動の研修③ 寺院における同朋運動の取り組み④ 近畿
- 同朋運動推進協議会（略称・近同推）への積極的参画⑤ 同和問題にとりくむ和歌山県宗教団連絡協議会（略称・和歌山県同宗連）への積極的参画
- IV 寺院機能振興を図る上から門徒総代、門徒推進員等と連携をはかり、連研の推進と広報活動の推進。
- ① 門徒総代会の研修② 連研のための研修会③ 連研講師研修会④ 連研修了者研修会⑤ 連研修了者の集い⑥ 連研修了者の中央教修への参加促進⑦ 門徒推進員連絡協議会の充実・発展⑧ 教区報の発行
- V 門信徒会運動・同朋運動を推進し、全員聞法・全員伝道を実現すべく門信徒、僧侶の一人ひとりが伝道教化活動並びに社会福祉活動・ビハラー活動への取り組みと組織教化団体の充実発展をめざす。
- ① 少年連盟② 仏教青年連盟③ 寺族青年連盟④ 仏教婦人会連盟⑤ 寺族婦人会連盟⑥ 仏教壮年会連盟⑦ 保育連盟⑧ スカウト⑨ 本派社推協和歌山教区支部⑩ ビハラー和歌山
- VI 布教の拡充強化をはかる
- ① 布教団② テレホン法話の充実③ ホームページの充実
- VII 法要儀式・勅式作法の研修

和歌山教区基幹運動推進委員会総会を通して

去る五月十日、鷺森別院で年次総会が開催された。総会では、このたび改訂された宗門基幹運動計画、昨年の活動を報告。さらに今年度の教区運動計画案が承認され、今年度事業のブロック別門信徒総研修会、平和を希う念仏者の集いについて審議された。

一九五〇(昭和二十五)年に差別の現実から出発し、教団内外の部落差別をはじめ、あらゆる差別・被差別からの解放を願ひ浄土真宗本願寺派同朋会が設立され、同朋運動がはじまった。さらに一九六一(昭和三十六)年の親鸞聖人七百回大遠忌を機に「全員間法・全員伝道」という「伝道教団の再生」や「わたくしたちと教団の体質を改める」運動として、門信徒会運動がはじまった。一九八六(昭和六十一)年には、両運動を一本化して「基幹運動」として展開されている。

総会より

昨年十二月に次期の宗門運動計画として「基幹運動総合基本計画」

が提示された。四半世紀に渡り親しまれた「念仏の声を世界に子や孫に」というスローガンも「いのちかがやく 世界へ」と改められ、実施期間も二〇〇六(平成十八)年度から三年間を前期、二〇〇九(平成二十一)年度から親鸞聖人七百五十回大遠忌までの三年間を後期とし、中間の見直しをして取り組むことになった。この運動が策定されるまでには、各教区へ意見の集約を依頼しその報告を受けて、今回の運動計画が施行された。

同総会では、今回の運動計画に對して、具体的な取り組みが示されていなく「戸惑いを感じる」という感想が出される一方、宗門計画の内容について、詳細に述べ

られている文書(『宗報』二〇〇六年三月号・「宗門基幹運動総合基本計画」)の文中に(課題)という抽象的な言葉が四十カ所あまりにわたって記述されていることに対して指摘された。

その他、昨年度開催された「法名」の問題をテーマとして取りあげた僧侶研修会について、参加者が少ないとの意見が出された。現在の僧侶自身にとって何が必要であり、何を問題にして研修を深めるのか、常に問題意識を持って、基幹運動をどう取り組んでいくべきかを問われていることが浮き彫りにされた。

今年度の取り組み

第一専門部会・教学研修部会で

は、葬儀冊子の増補改訂版の編集作業が大詰めを迎えている。今年度中に皆さまのお手元にお届けできる予定。

第二専門部会・同朋部会では、さらなる同朋運動推進に向けて、現地学習会の実施、教団内外に起こる差別事件の検証を行う。

第三専門部会・寺院振興部会では、教区報発行、門徒総代会の活動の充実、そして連研のあり方を見直す。

第四専門部会・組織教化部会では、宗門の将来を見据える上で、特にキッズサンガ(子どもの集い)を各教化団体の協力のもと各組・各寺院で開催されるよう働きかけていく。

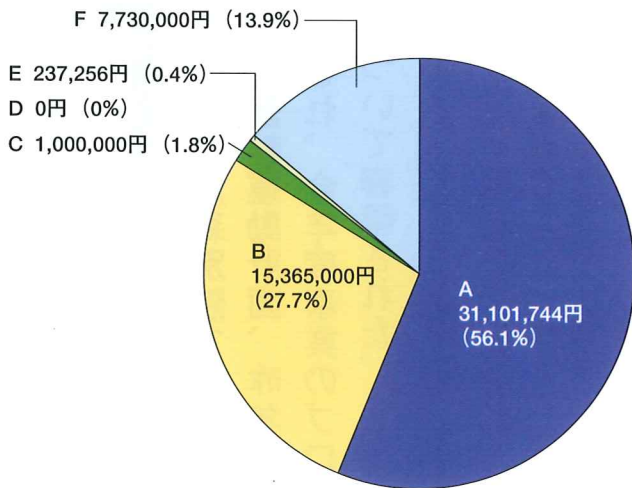
二〇一一年の親鸞聖人七百五十回忌法要まであと五年。混沌とした世の中であって、仏教の果たすべき役割の重要性が叫ばれている。「すべてのものを救う」という阿弥陀如来のお心をいただく私たちは、「親鸞聖人と歩む」という精神のもと、御同朋の社会をめざして、力を合わせて頑張りましょう。

2006(平成18)年度和歌山教区一般会計予算

(自：平成18年4月1日～至：平成19年3月31日)

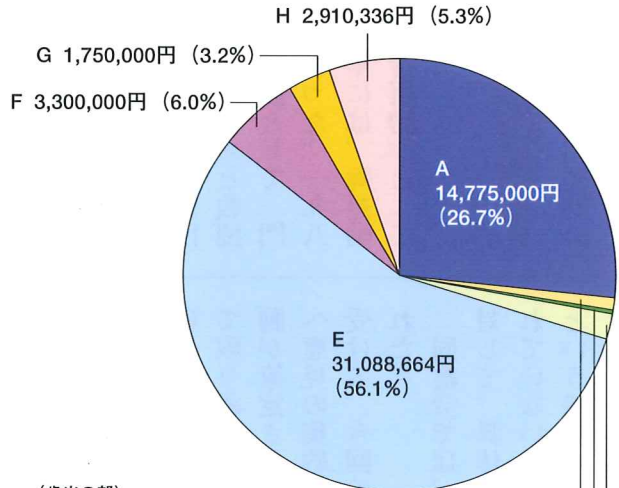
歳入の部 55,434,000円

歳出の部 55,434,000円



(歳入の部)

A	教区賦課金	31,101,744円
B	宗派交付金	15,365,000円
C	願記手数料	1,000,000円
D	回金	0円
E	雑収入	237,256円
F	繰越金	7,730,000円
合	計	55,434,000円



(歳出の部)

A	基幹運動推進費	14,775,000円
B	会議費	500,000円
C	宗会選挙事務費	30,000円
D	教区法要事務所費	1,080,000円
E	教務所費	31,088,664円
F	維持費	3,300,000円
G	回金	1,750,000円
H	予備費	2,910,336円
合	計	55,434,000円

2006(平成18)年度本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

歳入

歳出

款	費目	平成18年度予算額	平成17年度予算額	対比△減
1	懇志	13,000,000	10,950,000	2,050,000
2	回金	5,848,000	10,628,920	△4,780,920
3	本山交付金	80,000	20,000	60,000
4	維持費	4,770,000	550,000	4,220,000
5	負担金	1,500,000	1,500,000	0
6	雑収入	454,000	310,580	143,420
7	繰入金	32,098,000	0	32,098,000
8	前年度繰越金	3,500,000	340,500	3,159,500
	合計	61,250,000	24,300,000	36,950,000

款	費目	平成18年度予算額	平成17年度予算額	対比△減
1	法務費	2,790,000	2,800,000	△10,000
2	教化費	1,490,000	1,090,000	400,000
3	事務費	15,711,824	14,718,000	993,824
4	会議費	50,000	50,000	0
5	維持費	12,040,690	2,242,000	9,798,690
6	積立金	26,438,000	2,100,000	24,338,000
7	予備費	2,729,486	1,300,000	1,429,486
	合計	61,250,000	24,300,000	36,950,000

お寺の雑学

ヘアースタイル

右に巻いた毛

如来様の頭は、ややもするとパンチパーマに見えるポツポツがあります。これを螺髪(らぼつ)といいいます。螺とは、巻き貝のことで、渦巻き状に作られています。奈良の大仏の螺髪は九百六十六ありと東大寺の僧侶に教えて頂いたことがあります。ご本尊の螺髪に

ついて、数を追究したことはありません。



クシヤーナ朝時代のガンダーラやマトウラーで仏像が作られたとき、ギリシャ美術の影響が大きいガンダーラでは、髪の毛は波状に表現されることが多かったのですが、マトウラーでは渦巻き状につ

くられました。これが中国を通じて日本の仏像表現に大きく影響したと考えられています。

先号にも登場した三十二相には一孔一毛相―毛孔より各一毛のみ生じ柔潤紺青にして右に旋す―と、衆毛上向相―頭髮ならびに身毛の端は皆上に向き右に旋す―と示しています。

理由として他を傷つけることがないからだとされています。そういえば、得度直後のちくちく頭を思い出しました。あれは、凶器に

気になる一冊

お寺を地震から守る方法
天野正樹著 白馬社 1500円



世界有数の地震大国である日本。先ごろも和歌山市内で震度四の地震がありました。私たちが住む和歌山県は、東海・東南海・南海地震などの海溝型地震と中央構造線による直下型地震、この二つの地震に見舞われる恐れがあることは皆様よく

ご存知の通り。近年では地方自治体でも震度予測マップや浸水予測マップなどを公表し、大震災への備えを呼びかけています。さて、皆さんのお寺では震災対策を講じておられるでしょうか。不安を持ちながらも具体的には何もしていない、という方が多いのでは。一方で、本堂や庫裏の耐震補強を考えている方、また、本堂の新築や修繕を考えておられる方もいらっしゃるでしょう。そんな方には是非ともお奨めしたいのが今回とりあげる『お寺を地震から守

る方法』です。

著者は大手建設会社の寺社担当として多くの有名寺社の建築・改修に携った一級建築士で、寺院建築の弱点を知り尽くしたその道のプロ。素人ではなかなか気がつかない寺院建築の弱点・問題点を浮き彫りにし、地震に対する具体的な対策やそれにかかる費用の目安、さらには最新の耐震工法についてもイラストを交え、分りやすく紹介しています。自坊を震災に負けないお寺にしたいと願っている方は是非とも一読を。

なりますわな。
ちなみに、私の頭のつむじは左巻きです。

新スローガン懸垂幕販売

このたび、宗門基幹運動基本総合計画が改訂されたことで、「目標」と「スローガン」の懸垂幕ができあがりました。寺院の本堂などに掛けていただきご活用ください。

お求めは本願寺出版社
三、七八〇円(本体三、五〇〇円)



広く標語を募集

近畿同朋運動推進協議会では、同和教育振興会と共同で毎年作成している同朋運動啓発ポスターに掲載する標語を募集している。

内容は、同朋運動の推進を目的とするもので、未発表のもの。原則として二十字以内。採用作品には記念品が贈られる。締め切りは八月三十一日(必着)。送付先は奈良教区教務所内近畿同朋運動推進協議会事務局まで。

***** 教区だより *****

2006年 4月

- 4日 寺婦連盟三役会
- 5日 寺青連盟委員会
- 6日 少年連盟委員会
- 8日 寺青連盟総会・花見
- 10日 二法要広報伝道部会
- 10日 寺婦連盟委員会
- 11日 教区基幹運動推進委員会会長研修会
(本山/12日まで)
- 13日 仏婦連盟委員会
- 17日 冊子委員会
- 17日 仏壯連盟理事会
- 18日 仏婦総連盟総会(本山/19日まで)
- 19日 和歌山西組御消息披露・記念法座
- 19日 ビハーラ潮光園訪問
- 21日 和歌山東組御消息披露・記念法座
- 24日 教区相談員研修会(本山/25日まで)
- 25日 恵信尼さま顕彰「平和の集い」(本山・和歌山
教区担当)
- 26日 和歌山組御消息披露・記念法座
- 27日 二法要部長会・実行委員会

5月

- 2日 門徒総代会委員会
- 7日 有賀組御消息披露・記念法座
- 8日 伊那組御消息披露・記念法座
- 10日 基推委企画常任委員会・総会
- 11日 組長会
- 13日 門徒総代会総会・研修会
- 14日 仏壯連盟総会・研修会
- 15日 寺婦連盟総会・研修会
- 15日 少年連盟委員会
- 15日 全国門徒総代会総会(本山/16日まで)
- 16日 仏婦連盟総会・研修会
- 19日 教区報編集員会
- 20日 海草組御消息披露・記念法座
- 22日 寺婦連盟三役会
- 22日 寺青連盟研修会(本山)
- 23日 全国寺族青年野球大会(宇治/24日まで)
- 23日 基幹運動推進専従員研修会(本山/24日まで)
- 30日 紀南組御消息披露・記念法座
- 31日 寺婦連盟研修旅行(北九州・山口/6月1日まで)

6月

- 1日 仏婦総連盟評議員会(本山/3日まで)
- 3日 近畿ブロック保育連盟新任補任式(本山・和歌山教区担当)
- 3日 勤式講習会(鷺森別院)
- 6日 第3ブロック少年連盟指導者研修会(滋賀/7日まで)
- 7日 中央基推委常任委員会(本山)
- 8日 中央基推委中央推進委員会(本山/9日まで)
- 11日 日高組御消息披露・記念法座
- 12日 寺婦連盟三役会
- 13日 門徒推進員連絡協議会理事会
- 14日 少年教化アドバイザー研修会(本山/16日まで)
- 15日 近同推総会・研修会(本山)
- 15日 仏婦別院清掃奉仕
- 16日 教区報レイアウト委員会
- 17日 勤式講習会(日高別院)
- 17日 近畿ブロック仏青連盟連絡協議会(大阪/18日まで)
- 17日 門徒推進員代表者協議会(本山/18日まで)
- 19日 基推委企画常任委員会
- 21日 ビハーラ潮光園訪問
- 23日 仏婦連盟委員会
- 23日 寺青連盟例会
- 24日 加茂組御消息披露・記念法座
- 24日 有田北組御消息披露式・記念法座
- 25日 仏教青年の集い
- 27日 布教団総会
- 29日 少年連盟総会・研修会
- 30日 寺婦連盟委員会
- 30日 第3連区ビハーラ協議会(大阪)

7月

- 1日 有田南組御消息披露・記念法座
- 1日 和歌山北組御消息披露・記念法座
- 1日 勤式講習会(鷺森別院)
- 3日 ビハーラ委員会
- 5日 海南組御消息披露・記念法座
- 5日 少年教化寺族女性研修会(本山/6日)
- 6日 矯正教化連盟大阪管区支部連絡協議会(大阪)
- 9日 平和を希う念仏者の集い
- 12日 寺婦連盟役員会
- 13日 社推協評議員会
- 14日 基推委第1・2合同部会
- 15日 勤式講習会(日高別院)
- 15日 門徒推進員連絡協議会・研修会
- 18日 門徒総代会委員会
- 19日 社推協中央研修会(本山/20日まで)
- 21日 世界仏婦説明会
- 24日 児童念仏奉仕団(本山/25日まで)
- 24日 近畿ブロック講社講員研修会(滋賀/25日まで)
- 27日 基推委企画常任委員会
- 31日 僧侶研修会

8月

- 2日 近畿ブロック寺婦連絡協議会
- 4日 第2ブロックキッズサンガ(有田南組)
- 5日 全国真宗青年の集い(宮崎/6日)
- 20日 第1ブロックキッズサンガ(海草組)

9月

- 1日 仏婦連盟世界大会(ハワイ/7日まで)
- 2日 勤式講習会(鷺森別院)
- 9日 第1ブロック門信徒総研修会(鷺森別院)
- 9日 第3ブロック門信徒総研修会(日高別院)
- 10日 第2ブロック門信徒総研修会(海南市保健福祉センター)
- 16日 勤式講習会(日高別院)
- 18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

【お知らせ】

教務所・別院では、本山宗務所に準じ、7月1日から9月末までクールビズを実施いたします。

別院だより

鷺森別院

【常例法座】毎月十五・十六日
午後一時半より

七月 中野信宏師(奈良教区)
八月 足利弘宣師(備後教区)

※八月十五日は孟蘭盆会

九月 沖井智子師(東北教区)

【秋季彼岸会】
九月二十二日～二十四日
午後一時半より

松島法城師(兵庫教区)

日高別院

日高別院

【秋季彼岸会】
九月二十日

午後一時半より

桐山六字輪番

了賢寺開基 五百三十年を記念して 二尊会勤まる

蓮如上人とゆかりの冷^{しみず}水御坊で親しまれている了賢寺では、毎年四月十五日・十六日に二尊会が勤められている。特に今年は了賢寺開基五百三十年にあたり、それを記念して、現在鷺森別院蔵の二尊像（親鸞聖人と蓮如上人の連座の御影）を約五百年ぶりに了賢寺にお迎えしての法要となった。



「500年ぶりに了賢寺にお帰りになった二尊像」

法要初日には、午後一時半より連夜法要が勤まり、その後は本来なら飯盛山（御坊山）に蓮如上人のご木像をご動座しての法要・法話の予定であったが、雨天のため、引き続き本堂での法座となった。同日午後七時から初夜法要が、音

楽法要で勤められた。また、法要二日目は午後二時より連夜法要が勤められた。



「右余間蓮如上人御木像前にて勤行」

両日とも、松本教智ご住職より了賢寺に伝わる御文章「信心獲得章」の拝読があり、ご法話は大阪教区自然寺前住職加藤順教師で、了賢寺ご門徒をはじめ大阪、東海など遠近各地からの参拝もあり、盛況のうちに法要が勤められた。



第30回全国寺族 青年軟式野球大会

去る五月二十三日・二十四日に第三十回全国寺族青年軟式野球大会が京都府宇治市の太陽ヶ丘球場で開催され、全国から三十二チームが参加し熱戦が繰り広げられた。

当教区のTEAM SAGI NOMORIは北海道代表のノース・ウイングBチームと対戦。小雨の降る中、相手チームのピッチャーの好投に抑えられ、打線は湿り気味。しかし、最終回二アウトから打線が爆発。三点をあげ、なおも満塁の場面を迎えるが、最後のバッターが三振。三対九で惜しくも敗退した。



今大会を制したのは大阪・阿修羅、準優勝は備後・備龍会A、第三位は大分・赤色赤光であった。また、八月末(予定)に「近畿ブロック軟式野球大会」を和歌山教区が担当で開催する。教区内の青年層の方々に盛り上がり期待したい。詳細は後日寺院へ案内する予定。

金子みずぐさんをたずねて

和歌山教区寺族婦人会連盟では、五月三十一日から六月一日まで研修旅行を実施。三十一人が参加した。

初日は、北九州市にある本願寺鎮西別院を参拝し、近くにある門司港レトロを散策した。



翌日は、童謡詩人で知られる金子みずぐさんゆかりの地、山口県長門市仙崎へ。みずぐさんの墓がある遍照寺を参拝。みずぐさんが幼少のころ祖母に連れられてよく聴聞していた話を伺った。住職は「彼女の詩を読めばそれがわかりますよ」と話す。続いて金子みずぐ記念館を訪れ、彼女の自然すべてを慈しんだ心温まる作品を鑑賞した。今回は、みずぐさんを通じ、大きな慈悲につつまれて生かされている慶びをあらためて感じる研修旅行となった。

「第十三回平和を希う念仏者の集い」
「全戦没者追悼法要」のご案内

来る七月九日(日)午後一時半より
鷺森別院本堂を会場に「第十三回平和を希う念仏者の集い」全戦没者追悼法要」を開催する。

記念講演は、佐喜眞美術館館長の佐喜眞道夫さん。佐喜眞美術館は、沖縄県宜野湾市にあるアメリカ軍普天間基地と隣り合わせに建てられています。そこには、門徒でもあり「原爆の凶」で知られる丸木位里・俊夫妻が描かれた「沖縄戦の凶」が展示されています。

「沖縄戦の凶」には、日本で唯一地上戦の戦場となった沖縄戦の凄惨な姿が描かれています。このたび佐喜眞さんには、この絵を通しての非戦平和への想いを語っていただきます。
お誘い合せご参拝ください。

児童念仏奉仕団スタッフ募集中

先ごろ参加募集をしていた「第三十四回児童念仏奉仕団」が大変好評で定員となり、募集締め切りとなりました。

なお、当日子どもたちのお世話をいただきます引率スタッフの募集は、引き続き行っておりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。
期日 七月二十四日(月)～二十五日(火)

会場 本願寺

内容 和歌山から本山までのバス車中や清掃奉仕での子どもたちのお世話

参加費 一人二千元

(宿泊交通費、食事代含)
※詳細・お問合せは教務所(小山)まで。

子ども書道展・絵画展作品募集

少年連盟では、毎年恒例の書道展・絵画展の出展作品を募集いたします。
各学年のテーマは左記の通りとなっております。
多くの方の出展をお待ちしております。

【書道展】

- 毛筆●
- 中学生 「誓願」
- 小学五・六年生 「自然」
- 小学三・四年生 「光明」

全国真宗青年の集い in 宮崎

今年度全国大会が宮崎にて開催されます。お誘い合せお気軽にご参加ください。

僧侶研修会開催のご案内

今年度の基幹運動推進僧侶研修会が七月三十一日(月)に鷺森別院において開催されます。講師は浅井成海師(龍谷大学名誉教授)で、午前(教学)・午後(同朋運動)の研修を行います。
※日程、内容については後日各寺院へご案内いたします。

小学一・二年生 「み仏」

●硬筆●

小学一・二年生 「めには みえない たからもの」

幼児

「きょうの いのちを たいせつに」

【絵画展】幼児・中学生

課題はありませんので自由に描いてください。
※お手本、締切日等詳細は教務所(小山)まで、お問合せください。

期日 八月五日(土)～六日(日)
会場 ワールドコンベンションセンターサミット
大会参加費 一万円
※詳細は教務所(小山)まで。

ブロック別門信徒

総研修会のご案内

年開催のブロック別門信徒総研修会が、今年も開催されます。第一ブロックは海草組担当のもと九月九日(土)鷺森別院、第二ブロックは加茂組担当のもと九月十日(日)海南市保健福祉センター、第三ブロックは御坊組担当のもと九月九日(土)日高別院で開催予定。詳細については、各寺院ご案内します。

得度

長谷川美千子 海草組 報徳寺

教師

寺本 泰空 加茂組 教徳寺

逝去

柳岡 邦子 御坊組 常照寺
前坊守・衆徒

平成十八年五月十四日

ご生前のご活躍・ご尽力に感謝申しあげ、謹んで敬申の意を表します。